



ふれあい

発行
青少年育成
沼袋地区委員会
昭和55年12月15日創刊

地域の目となって

～子どもたちを見守り続けます～

全体の活動

- 5/17 第43回定期総会
- 6月～3月 全体会(月1回)
- 9/16 青少年育成バザー
- 10/15 子どもワイワイ広場参加
- 2/14 委員研修

「みんなでポッチャー」



4年ぶりで地区委員もドキドキでした

日頃から沼袋地区委員会の活動にご支援とご協力をいただき、ありがとうございます。今年度は新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、ほぼ通常に近い活動ができました。なかでも、地域の皆さまのご協力のもとでバザーが無事に開催できましたことに、役員一同大変感謝しております。本当にありがとうございます。

昨今、沼袋のバス通りは、拡幅工事に伴ってお店が次々と撤退しています。工事車両の出入りもあって危険が増すなか、道路に面したお店がな

育成部の活動

6月～1月 ミニリーダー講習会

今年度なによりもうれしかったのは、昨年までコロナ禍で断念せざるを得なかった「通年のミニリーダー講習会」を4年ぶりに開催できたことです。ただ、育成者にとってもこの4年間のブランクはとて大きく、募集した4年生から6年生は当然ながら全員未経験で、講習会をどのように進めていったらいいかと、戸惑いが多々ありました。そんな私たち育成者の心配をよそに、参加してくれた28名のミニリーダーは、楽しく元気に活動してくれました。長いミニリーダー講習会の歴史のなかでは定番になっていたプログラムもなんだか新鮮で、講習のたびに緊張感がありました。

一泊二日のキャンプはお天気に恵まれ、自然の中で走り回ったりキャンプファイヤー

をしたりと、充実した2日間でした。丸山塚公園で作ったスネークパンとリンゴジャムも、久しぶりでとてもおいしく、大好評でした。子どもワイワイ広場でスネークパンのお店を出せなかったのは残念ですが、この味はずっと受け継いでいきたいと思いました。大きなけがもなく安全に楽しく活動できたのは、拠点にしている沼袋区民活動センターの皆さま、地域の学校の先生方、PTAの皆さまのご理解とご協力あつてのことと感謝しています。今年度もありがとうございます。

(部長 間瀬敬子)



来年はワイワイ広場でできるといいね

環境部の活動

- 6/14 環境実態調査
- 6/21 環境実態調査報告書の作成と配布
- 子ども安全マップ配布
- 8/29 夜間パトロール
- 10/15 子どもワイワイ広場参加
- 12月・1月 新年度用子ども安全マップ製作
- 1月・2月 新一年生説明会

昨年は「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもたちの存在



これから夜間パトロールに出発です

広報部の活動

(部長 槐玲子)

5月～2月 地区委員会全体および育成部・環境部の活動取材
7/12 広報紙「ふれあい」第128号発行
12/13 広報紙「ふれあい」第129号発行
3/13 広報紙「ふれあい」第130号発行
今年度も「ふれあい」をお読みいただき、ありがとうございます。

障がいを抱えた家族、または幼い弟妹の世話を、大人に代わって担っている子どもたちのことです。買い物や料理、掃除などの家事や家計を助けるための労働で、学業に専念できない子どももいます。部活動や友だちと遊ぶ時間もなく、子どもらしい夢も描けず、家族のためだからと当然のように世話をする子どもたちの健気さに、心が痛みました。青年になっても問題が解決せず、ずっと続く人も多いようです。

ヤングケアラーの子どもたちは、情報社会のなかで助けを求める方法も手段も見いだせず、世間から見放されているように感じます。身近な生活が見えにくい現代ですが、お節介な「気づき」も大事なのではないのでしょうか。昨年から中野区にも「ヤングケアラーコーディネーター

12月の広報紙では、4年ぶりに開催された地区委員会の育成バザーを特集しました。提供していただいた品物の受付、点検、値札付け、そしてバザー当日と後片付けまで、あますことなくお見せすることで、地域の方々の善意を無駄にしないようにと力を尽くす地区委員の姿を少しでもご理解いただければと願っています。

広報部は広報紙を通して、子どもたちに関する情報や地区委員会の活動状況を広く地域の皆さまにお伝えするのが大きな役割です。今後さまざまな特集をするうえで、環境部と連携して子どもを取り巻く問題について考えたり、町会や子どもと共に進む会の方々から地域のことをお聞きしたりと、常にアンテナを張って情報の収集と発信に努めていきたいと思います。

(部長 清水理香)

1月全体会

1月17日(水)

今年最初の全体会は、年初に起こった災害のことでもあってお祝いムードとはいかず、出席された行政や学校、町会の方々からは、あらためて日頃の備えが大切だという話が出ました。

参加団体や各部の活動報告の後は、恒例の「今年の抱負を一言で」という企画が行われました。波乱の年明けになったせいか、「笑」「健」「楽」「新」「始」「活」「学」「実」「結」「穏」「助」「備」「縁」「繋」「余」「裕」など、願いや希望が込められた文字が多く見られました。

また、「松」「鍛」「吸」「改」「外」「一」「親」「拡」など、それぞれの想いが込められた漢字もあり、選んだ理由を聞くことで、参加者同士の親睦を深める機会にもなりました。最後には勝ち抜くと豪華賞品がもらえる「じゃんけん大会」が行われ、和やかな雰囲気の中で会を締めくくることができました。



豪華賞品の中身は…?

(関口敦子)

ミニ・リーダー通信

ウィンターフェスタ

1月21日(日)午前



教え方がとても上手でしたよ!

ミニ・リーダー講習会の一年間の集大成ともいえるウィンターフェスタが4年ぶりに開催され、あいにくの雨にもかかわらず、会場は総勢20名ほどの地域の子どもたちで賑わっていました。

「プランストラップ」「マクラメ」「貝ぐるみ」「ポンポン」「雪だるまブローチ」「くるみボタン」の各コーナーで、事前に講習を受けたミニ・リーダーたちが参加者にわかりやすく教えていました。手際よくお手本を見せたり、作りやすさのコツを伝えたりと、子どもたちが自分で作れたという達成感を味わえるよう指導する姿に、この一年のミニ・リーダーの成長を感じました。どのコーナーも活気にあふれ、あらゆる年齢の子どもたちが楽しめる魅力的な内容でした。そして2時間のウィンターフェスタを終えたミニ・リーダーたちは、安堵感と達成感のなか、班ごとにじゃんけん

ゲームを楽しみながら昼食のおにぎりをいただきました。

コロナ禍を経て久しぶりの年間プログラムを見事にやり終えたミニ・リーダーたち。これからの地域行事での活躍にも期待が高まります。

(田中恵)

閉講式

1月21日(日)午後



一年間、よく頑張りました!

今年度は年間を通しての活動となったミニ・リーダー講習会。午後から行われた閉講式で来賓の方が、午前中のウィンターフェスタで、小さな穴に紐を通すのが難しく困っているときにすかさず声をかけて助けてくれたことに感激した、自然と人助けができるようになったのも講習会で学んだ成果なのでは、とお話されていました。ミニ・リーダーたちはこの1年で、キャンプやカヌー、スネークパン作りなど、他校の仲間たちと交流しながら楽しくたくさんこのことを学んだのだと感じました。

修了証や皆勤賞などが授与

委員研修「みんなでボッチャ!」2月14日(水)

今年度の委員研修も昨年に引き続き、好評だったボッチャを体験しました。地区委員でもあるスポーツ推進委員の小澤淳子さんからルールとボールの投げ方を教えていただいた後、3人一組のチームが赤と青に分かれて2チームずつ対戦開始です。

先攻のチームが的になる白いボールを投げた後、1人2個のボールを交互に投げ、最後に的に一番近いボールを投げたチームが勝ちという、カ

された後、ロープやなた、のこぎりや包丁などの道具類を安全に扱うことができたという「道具安全使用免許証」も、それぞれのスキルに応じて渡されました。

ミニ・リーダー講習会は、小学生同士だけではなく、中高生のジュニア・リーダーや地区委員の方たちなど、幅広い年齢の人たちとのつながりが温かい、地域での子育ての一つだと思いました。

(岡安範子)

ミニ・リーダー大募集!!

- ★学校ではできないことが体験できる!
- ★他の学校や違う学年の友だちができる!

新年度のミニ・リーダー講習会のお知らせは、学校を通じて4月ごろに配布します。大勢のお子さんの参加をお待ちしています。



編集後記



ボッチャは本当に難しいゲームです

(小池泉)

令和5年度の広報部の活動もこの「ふれあい」の発行をもって終了しますが、毎年この時期は名残惜しい気持ちでいっぱいになります。それは、一緒に広報紙をつくってきた部員の皆さんのおかげで、楽しい時間を過ごすことができたという思いがあるからです。これはきっと、私だけではないと育成部や環境部の部長も同じだと思います。

春休み あそびいろいろ

※行事の詳細は、各施設・団体にお問い合わせください。

▼キッズ・プラザ古田

(338517955)

3/18(月)・19(火)・21(木) 午後3時半

▼キッズ・プラザ緑野

(534517470)

3/22(金) 午後2時45分

▼「おはなし会」

3/25(月) 午後1時半

▼「みどりの大作戦」

みんなの進級を祝って楽しいイベントをするよ!



PTAの方々のなかには、「地区委員会の活動は忙しくて大変」という印象をお持ちの方もいらっしゃると思います。フルタイムで働く方が圧倒的に多い現代、貴重な休日を地区委員会の行事や各部の活動に費やすのは、たしかに大きな負担かもしれません。それでも、大変なばかりじゃなくやりがいや達成感を感じてもらえるように、そして最後は「楽しかった」と言ってもらえるように、「魅力ある地区委員会」をアピールしていくのも広報部の仕事だと感じています。

(清水理香)